

R3 街路空間等の再構築・利活用のプロセス事例集～中小都市版～

- 全国各地で街路空間等の再構築・利活用が進む中、先進的な事例として大都市だけでなく、中小都市も含め、まさに取り組みを始めているというような事例についても紹介してほしいとの声が多数。
- 令和3年度は、積極的に取組を進めている、中小都市の多様な8事例を、実現に至るまでのプロセス(取組のきっかけや直面した課題等)や成功の要因等について事例集としてとりまとめ。ウォーカブルポータルサイトで公開。

詳細はこちら



<https://www.mlit.go.jp/toshi/walkable/pdf/guideline0001.pdf>

街路空間等の再構築・利活用のプロセス事例集 ～中小都市版～

■事例集の作成対象自治体/対象街路等

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ① 香川県善通寺市/市道一高西側線 | ② 大分県日田市/JR日田駅前広場 |
| ③ 奈良県桜井市/長谷寺参道 | ④ 福井県敦賀市/国道8号 |
| ⑤ 広島県竹原市/あいふる通り | ⑥ 山口県防府市/旧山陽道 |
| ⑦ 鳥取県米子市/ほっしょうじ通り | ⑧ 新潟県見附市/駅前周辺地区 |



<ヒアリング結果>

●取組のきっかけ：

自治体側が問題意識をもって**地元へアプローチし、官民の協力体制**を築き取組を推進

●直面した課題と解決策：

- ・ 地元調整 → **密な意見交換、小さなことから実践**
- ・ 庁内調整 → **職員の意識改革、横断的組織の設置**

●取組が加速化した局面：

行政トップの判断、地元との協力体制構築、職員の意識改革、実験的な取組実施、外的要因(新幹線の開通等)

【事例】大分県日田市 JR日田駅前広場(1/2)

「駅舎の改修を契機とした官民連携による駅前広場の整備・利活用」

【取組概要】 ①JR日田の駅舎改修を契機に、駅前広場の再整備を進めることとなった。②検討委員を立ち上げ、地元とともに駅前広場の使い、デザインを検討。③公民連携を軸とした推進に向けて、官民の人材資源を結集した「官民集約推進会議」を開催し、駅前広場の再整備を進めるためのロードマップを策定し、駅前広場の再整備を進めた。

【事例】大分県日田市 JR日田駅前広場(2/2)

「取組プロセス」

【苦労した点と、その解決策】

- 民間による関係者や事業者との調整が困難であったことについて、エリアの中心から実現するアクションプランまで検討し、まちづくりに対する意識改革を実施。
- 官民連携による関係者や事業者との調整が困難であったことについて、エリアの中心から実現するアクションプランまで検討し、まちづくりに対する意識改革を実施。
- 駅前広場の再整備を進めるためのロードマップを策定し、駅前広場の再整備を進めた。

(参考)「居心地が良く歩きたくなる」街路づくりを進める自治体へのヒアリング結果

- ① 実施したい取組が**明確化している場合に、まちなかウォーカブル推進事業**が有効。
- ② 取組を実施する**区域設定は民間活動起点や構想・計画起点など地域によって様々**
- ③ **都道府県や中間支援組織等の伴走支援が重要。**
- ④ **持続可能な組織化のための財源確保も重要。**
- ⑤ **駐車場や荷捌きの対応に加え、点字ブロックへの対応や感染症対策が課題。**